

請願1件・陳情1件 継続審査となりました

継続

請願第3号

「生活保護の老齢加算の復活を国に求める」件について

提出者

徳島県生活と健康を守る会連合会

会長 貞元 敏之

継続

陳情第1号

「安全・安心な国民生活実現のため、防災・生活関連予算の拡充と国土交通省の地方出先機関の存続を求める」件について

提出者

国土交通省管理職ユニオン四国支部

執行委員長 有澤 尚可

視察に来市された議会



来市された富山県小矢部市の議員に対して
当市議会改革特別委員会が対応しました。

富山県小矢部市	4月13日	6名	議会基本条例・事務事業評価について
香川県東かがわ市	5月12日	10名	議会改革について
栃木県大田原市	5月19日	8名	議会改革の取り組み状況について
北海道旭川市	6月7日	1名	議会基本条例について
神奈川県伊勢原市	6月30日	9名	議会改革について
京都府亀岡市	7月1日	7名	議会活性化事業について
茨城県鹿嶋市	7月15日	10名	予算決算常任委員会の運営・議会改革の取り組みについて

生活保護基準との比較検討をすべきとの一審判決が出ている。生活保護基準を目安にした制度に改めるべきでは。

統括監 医療費は、国・

県・市支出金、社会保険支払基金交付金、保険税で賄われている。低所得でも保険税負担は必要。

宝 乳幼児の細菌性髄膜炎と子宮頸がんは罹患

率、死亡率が高く、後遺症も重い。ワクチンが任意接種で三万五千元と高いのがネック。県が子宮

子宮頸がんワクチン
市の助成措置を

現行で運用する。

頸がんワクチン助成を決めた今、市民の尊い命を守るため、国に公費による定期接種化を求め、市も助成措置をすべきでは。

保健福祉部副部長 国へ

の要望は、全国市長会で進めている。市の助成はまだだが、県の動向も見ながら検討する。

プ、「南海・東南海地震津波ハザードマップ」の三種類四枚が市内全戸に配布されているが、各家庭においてこれを有効に活用しているのか。その内容である避難場所についても、耐震性などの点についても考慮されていない。在庫切れのための

今回の増刷に際しては、市民にわかりやすく、実効性のあるものにすべしと思うがどうか。

市長 当時の災害対策課、

住宅課においてそれぞれ目的に合わせて作成したものと認識している。増刷に当たっては十分精査し、まとめるべきもの

はまとめて、わかりやすく周知ができるものにしていきたい。



議員の賛否表（6月定例会）

議 案	議 員 名																
	安 平 剛 之	濱 田 保 徳	北 野 恒 男	井 村 保 裕	池 淵 彰	宝 覚	天 羽 篤	武 田 清	石 原 正 裕	立 川 邦 男	出 口 憲 二 郎	大 和 肇	高 木 幸 次	大 木 進	佐 野 善 作	米 崎 孝	井 内 建 治
議案第 33 号 専決処分の承認について（平成 21 年度小松島市一般会計補正予算（第 8 号））																	
議案第 34 号 専決処分の承認について（小松島市市税賦課徴収条例の一部を改正する条例）																	
議案第 35 号 専決処分の承認について（小松島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）																	
議案第 36 号 平成 22 年度小松島市一般会計補正予算(第 1 号)																	
議案第 37 号 小松島市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について																	
議案第 38 号 小松島市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について																	
議案第 39 号 小松島市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について																	
議案第 40 号 小松島市企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例について																	
議案第 41 号 小松島市火災予防条例の一部を改正する条例について																	
議案第 42 号 小松島市民プール条例を廃止する条例について																	
議案第 43 号 小松島市国民健康保険条例の一部を改正する条例について																	
議案第 44 号 市道の路線の変更について																	
議案第 45 号 監査委員の選任の同意について																	
議案第 46 号 固定資産評価員の選任の同意について																	
議提第 4 号 小松島市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について																	

は賛成 は反対 - は欠席 （議長）宮崎 欽司

視察した自治体・研修先

平成 22 年 1 月 19 日

新潟県 佐渡市

とき 「朱鷺と暮らす郷づくり」認証制度について

みらいの会 石原正裕

エコファーマーの認定を受けた生産者が農薬や化学肥料を削減した「生きものを育む農法」で安全・安心でおいしいお米のブランド化に成功しており、水稲農業の先進地において、問題点等の対応策や解決策について調査した。

平成 22 年 5 月 14 日

大阪市西区 (社)日本経営協会

地方財政の課題と制度改革への対応について

新緑の会 佐野善作
みらいの会 石原正裕
みらいの会 安平剛之
みらいの会 池淵彰
前進クラブ 出口憲二郎

地方財政健全化法の本格的施行に伴い、財政健全化への対応も一層の厳しさが求められている中で、地方議会の役割と責任も重要になっている。刻一刻と変化する地方財政の現状と今後について研修した。

平成 22 年 5 月 29 日
30 日小松島みなと交流センター (kocolo)
フィールド調査 (櫛淵町)

生物多様性農業のための田んぼの生きもの調査 アシスタント講習会

有機栽培の圃場で田んぼの生きもの調査をすることにより、本市の有機農業を進める上で必要な調査研究をした。

日本共産党小松島市議団 天羽篤
新緑の会 佐野善作
みらいの会 石原正裕
みらいの会 北野恒男

平成 21 年度 政務調査費収支一覧表

残額 2,694,986 円は市に返還しました。

(単位: 円)

会派名	交付額	支出科目							支出総額	残額
		研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他の経費		
みらいの会	1,680,000	16,400	516,167	7,640	18,711	31,031	10,493		600,442	1,079,558
日本共産党 小松島市議団	430,000				126,187	206,866	2,998	17,325	353,376	76,624
前進クラブ	480,000	8,200	108,306	133,816	19,975	2,998			273,295	206,705
翔政クラブ H21.7.31に1名減	320,000		6,840	172,200	1,137	8,866	2,202		191,245	128,755
無所属クラブ	240,000					4,433	1,499		5,932	234,068
公明党	240,000				1,137	4,433	1,498		7,068	232,932
清進クラブ	240,000		43,622			4,433	1,498		49,553	190,447
新緑の会	240,000		99,595		33,561	4,432	1,498		139,086	100,914
若葉会	240,000				23,157	4,432	1,498		29,087	210,913
大互会	240,000					4,432	1,498		5,930	234,070
合計	4,350,000	24,600	774,530	313,656	223,865	276,356	24,682	17,325	1,655,014	2,694,986

執行率 = 38.05%

平成22年9月定例会日程

月 日	曜	開議時刻	議 事
9月3日	金	午前10時	開会（議案提出）
9月7日	火	午前10時	質疑・一般質問
9月8日	水	午前10時	質疑・一般質問
9月13日	月	午前10時	総務産建常任委員会
9月14日	火	午前10時	文教厚生常任委員会
9月15日	水	午前9時30分	予算決算常任委員会

月 日	曜	開議時刻	議 事
9月16日	木	午前9時30分	予算決算常任委員会
9月17日	金	午前9時30分	予算決算常任委員会
9月21日	火	午前9時30分	予算決算常任委員会
9月27日	月	午前9時30分	予算決算常任委員会
9月29日	水	午前10時	議決・閉会



ブルーインパルス 小松島上空にて展示飛行



港まつり 阿波踊り



体験航海中の護衛艦「いそゆき」

発行／小松島市議会 議長 宮崎 欽司

編集／議会広報特別委員会 委員長 天羽 篤

編 集 委 員			
大和 肇	宮崎 欽司	北野 恒男	天羽 篤
	池淵 彰	井村 保裕	安平 剛之

濡れた青葉輝く頃、六月定例会は二十四日に閉会し、二十九日から七月二十日までの間、当特別委員会は編集作業に集中し、表紙のページ案内のよう仕上がりしました。

小松島市の大きな催し物の一つであります「港まつり」の中で、今年ブルーインパルスによる展示飛行が行われました。その絶妙で華麗な飛行は、市内外の多くの人々の心を魅了し、感動を与えてくれました。

雲の中からブルーインパルスが現れてくるのを見てみると、頭の中に戦時中が思い浮かんできました。ある雨の日、雲の中から急に現れた爆

撃機から、田植えをしていた和島の水田に爆弾が投下され、町民が犠牲になり、また、和島大海岸では、漁船が戦闘機の攻撃を受け、これも犠牲者が出ました。

悲しい思いが遠く離れた今日、楽しく地びき網を引いている園児たちが、戦争という悲劇があったことを知ることがあるのでしょうか。忘れてはならないことであり、伝えていく必要があると思います。

戦争とは悲惨なものであり、平和とは尊いものであると。永遠に平和であることを祈ります。

（大和 肇）

編集後記